第18回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「埼玉県荻野吟子賞　大賞受賞の快挙」



桑井亜乃さん（左）

アルカス熊谷所属の桑井亜乃（くわい あの）さんが、熊谷市初の「埼玉県荻野吟子賞大賞」を受賞し、本年２月に表彰式がありました。この賞は平成17年度から始まっている歴史ある賞で、埼玉三偉人の一人、日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子の不屈の精神を今に伝える先駆的な活動を通して、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所に贈られる賞です。

桑井さんはラグビー界で男女を含めて初めて選手とレフリー両方でオリンピックに出場した功績が認められたもので、2016年のリオデジャネイロオリンピックに選手として出場、2024年のパリオリンピックでは主審を務めました。現在もラグビーリーグワンの試合で女性初の審判に選出されるなど、前人未到の挑戦を続け、活躍なさっています。20年目を迎えた荻野吟子賞において、熊谷市にゆかりのある方が初の大賞受賞となりました。



レフリーをしている桑井さん

今年は熊谷市誕生20周年です。桑井さんの快挙に続き、熊谷市が新たな一歩を歩み出す一つの方向として、荻野吟子にスポットを当てていきたいと考えています。現在、荻野吟子が医院を開業するなど、ゆかりのある北海道せたな町と今後の取組について話合いをしており、実り多い機会となりますことを期待しています。

市報クイズ

【今月のプレゼント】
「20%OFF券」を30人にご提供します！
※当選されたご本人様のみ適用　※熊谷店のみ適用

今月の問題　○○に当てはまる言葉をお書きください。

防災士は「○○」「共助」「協働」を原則として、防災力を高める活動を行っています。

応募方法　【締切日】6/30(月)

①今月号の市報の感想 ②市報で取り上げてほしい内容 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦今月の問題の答え を必ず明記し、フォームまたはハガキからご応募ください。

送付先　〒360-8601
熊谷市宮町2-47-1 広報広聴課
※ 当選者の発表は、プレゼント引換券の発送を持って代えさせていただきます。

4月号の正解

20

◆応募総数 57通中 正解52通

モミリーウィッチ熊谷店





プレゼント例



お店の紹介 (Instagram@momirywitch_kumagaya)

リーズナブルでボリューム感満点なクレープ屋さん。甘い系からお食事系まで種類が豊富です！生地はモチモチ食感♪ぜひお召し上がりください。

住　　所　熊谷市大原1丁目2-32
営業時間　12:00~18:30
定 休 日　日曜日　048-580-7012

まちフォト



4/4 事故ゼロへ！春の全国交通安全運動出発式

春の全国交通安全運動出発式が開催され、一日警察署長に今年度の自転車マナーアップ推進校である、奈良中学校の生徒が任命されました。



4/5 令和7年度 熊谷市表彰式

令和7年度熊谷市表彰式があすねっとで開催され、被表彰者に表彰状が授与されました。



4/5 熊谷市シティプロモーション動画の撮影が行われました。

動画の締めくくりとなるシーンを熊谷桜堤で撮影しました。早朝の撮影にも関わらず、150人を超えるエキストラの皆様にご参加いただきました。



4/19 ホームタウン4市（狭山市・飯能市・日高市・熊谷市）協定締結記念マッチ！

SOMPO WEリーグ第18節、ちふれASエルフェン埼玉対大宮アルディージャVENTUSが熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われました。



左から塚田（つかだ）選手、市長、角（すみ）社長

4/21 新シーズン開幕！

熊谷市を本拠地とする埼玉武蔵ヒートベアーズの塚田選手（熊谷市出身）と角社長が市長を訪問し、今シーズンの意気込みを語りました。



4/24 植樹祭の式典に出演！

声楽家・原田勇雅（はらだ ゆうや）さんが、5月25日に秩父ミューズパークで開催された「第75回全国植樹祭」の式典への出演を報告するため、市長を訪問しました。

3月 4月 さくらのまちくまがや2025フォトコンテスト入選作品

3月から4月にかけて市公式Instagram（インスタグラム）で開催した、#さくらのまちくまがや2025フォトコンテストの入選作品をご紹介します。ご応募いただいた皆さん、すてきな投稿をありがとうございました。

人物部門
@yurerukoromo



動物部門
@214cocoa



構図部門
@inochiii_film



景観（昼）部門
@tame2128



景観（夜）部門
@siosio5001



市公式Instagramは
下記コードからご確認ください。

KUMAGAYA_CITY





KUMAGAYA
発行日　令和7年6月1日
発行　熊谷市広報広聴課
TEL 048-524-1156（直通）
土曜開庁の情報は下記コードからご確認ください。

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

情熱世代

夢追い人

MORITA MAKI
BASEBALL REFEREE



森田（もりた） 真紀（まき） さん
埼玉県高等学校野球連盟所属
審判委員（熊谷市出身）
さいたま市立中学校教諭

これまでの歩み

父親が野球を、母親がソフトボールをしていたこともあり、子どもの頃からボールに触れていました。中学・高校ではソフトボール部に、大学では野球部に所属し、部活に打ち込んでいました。大学卒業後は県内の高校で非常勤講師として働き、仕事と並行して社会人チームに入って現役を続けました。社会人チームは週末しか練習がないので、勤務先の高校で、高校生と一緒に野球の練習をさせてもらっていました。

自分にできること

高校生って不思議なことに本当に全員「甲子園」を意識しているんですよね。毎日、夜遅くまで練習して、翌日には朝早くから朝練をしていました。ここまで必死になれるのは高校3年間くらいだと思うんです。だからこそ、「この子たちのために自分にお手伝いできることはないか」と考えるようになり、審判として部活のお手伝いを始めました。埼玉県高等学校野球連盟（以下「高野連」）の北部地区に所属して、審判講習や練習試合に参加し、知識と実戦を積み重ねていきました。審判として熊谷さくら運動公園野球場（おふろcafé ハレニワスタジアム）に立ったときはとてもうれしかったですね。

支えてくれた周囲に感謝

その後、中学の教諭になり、自分が部活の顧問を受け持ち、忙しくしていたことや、産休・育休に入ったこともあり、合計10年間くらい野球から離れていました。ただ、その間も高野連の先輩が、審判講習などの案内をずっと送ってくれていました。自分としても、このまま野球から離れていくのが中途半端で後悔すると感じ、もう一度チャレンジしようという気持ちになりました。変わらず私を受け入れてくださった高野連の先輩方には感謝しかないですね。

常に意識していること

審判は自分の判断一つひとつが試合の流れや状況を左右するし、難しいことばかりです。その中でもプレーしている子たちに、この試合をやって良かったと思ってもらうことを意識しています。審判という立場で、選手たちと同じフィールドに立てる幸せを噛みしめながら、毎試合臨んでいます。

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

高校球児とともに

これからの目標

今後の夢は、甲子園で男子の硬式野球の審判をすること。もしそうなれば女性としては初めてのことになります。昨年の4月、全国審判講習会に女性として初めて参加し、今年の5月には、「全国高等学校軟式野球選手権大会70回記念春の軟式交流試合in甲子園」に、派遣されました。自分で思い描いている以上の経験をさせてもらっていますし、近い将来、夢が現実になるんじゃないかと実感していますね。

そして、自分が活躍する姿を見せることで、審判に興味を持ってもらい、審判をやってみたいという人が増えてくれるとうれしいです。今後も夢に向かってチャレンジしていきます！



試合中の森田さん